

技術提案募集：圧送管路のテレビカメラ調査技術

求める技術	概要	
圧送管路のテレビカメラ調査技術	現状 ・ 問題点	運用されている圧送管路のテレビカメラ調査技術では、机上スクリーニングを実施し、危険箇所を絞り込んだ上で空気弁から最大で30mのテレビカメラ調査(状況によっては弁室からのデジタルカメラ画像のみ)を実施する技術となっており、全延長の確認が出来ない状況である。
	ニーズ (課題・条件等)	・机上スクリーニングによる危険箇所の抽出を行っているものの、管渠全体の劣化度を、弁室からのデジタルカメラ画像だけで判断するため、不安が残る。 ・ロングスパンのテレビカメラ調査が可能な技術を求める。